

主催：全国助産師教育協議会 将来構想委員会、九州・沖縄地区研修会
九州・沖縄地区 助産師教育コロキウム

将来の助産師教育を考える

—あるべき卒業時の到達像と教育—

平成 22 年に助産師学生の実践能力の強化を目的に、助産師教育の修業年限が半年から 1 年に引き上げられました。全国助産師教育協議会はこれまでに、助産師教育のコア内容の検討やミニマム・リクワイアメンツ項目の提示等を通して、日本の助産師が持つべき実践能力を社会に発信してきました。各教育機関においてもこれらに照準を当てた教育を行っているところです。しかし、実際、学生の卒業時の到達度は、社会が求める助産師の能力と隔たりがないでしょうか？また、我が国の助産師教育は、ICM（国際助産師連盟）が示している助産師の必須能力を育成するための期間や資源を備えているでしょうか？

今回、助産師教育の現状を正視し、助産師教育の将来ビジョンはどうあるべきかを含めて、多くの意見を出し合い、考えたいと思います。たくさんの方々のご参加をお待ち申し上げます。

*コロキウム (colloquium)：一定の項目について専門家も加わって行う研究会

■開催日時：平成 26 年 8 月 2 日（土）14：35～17：20

■会場：日本赤十字九州国際看護大学 講義室 101

福岡県宗像市アスティ 1 丁目 1 番地 TEL：0940 - 35 - 7001

■参加費：無料

■参加対象：助産師教育者、臨床指導者、臨床現場の助産師、学生、出産経験者

プログラム

14：35 ～ 14：40	開会の挨拶	坂井 邦子（九州・沖縄地区地区長）
14：40 ～ 15：00	基調講演	佐藤 香代（全国助産師教育協議会理事）
15：00 ～ 16：00	話題提供	
	座長	藤井 ひろみ（将来構想委員会委員）
	臨床現場から	木原 由美子（筑紫クリニック）
	教育現場から	大石 和代（長崎大学大学院）
	産科医の立場から	遠城 幸子（福岡赤十字病院）
	母親の立場から	浅尾 香
16：00 ～ 16：10	休憩	
16：10 ～ 17：15	意見交換・まとめ	
17：15 ～ 17：20	閉会の挨拶	

■問合わせ先

日本赤十字九州国際看護大学 准教授 石山 さゆり

Tel：0940 - 35 - 7503 e-mail：s-ishiyama@jrckicn.ac.jp

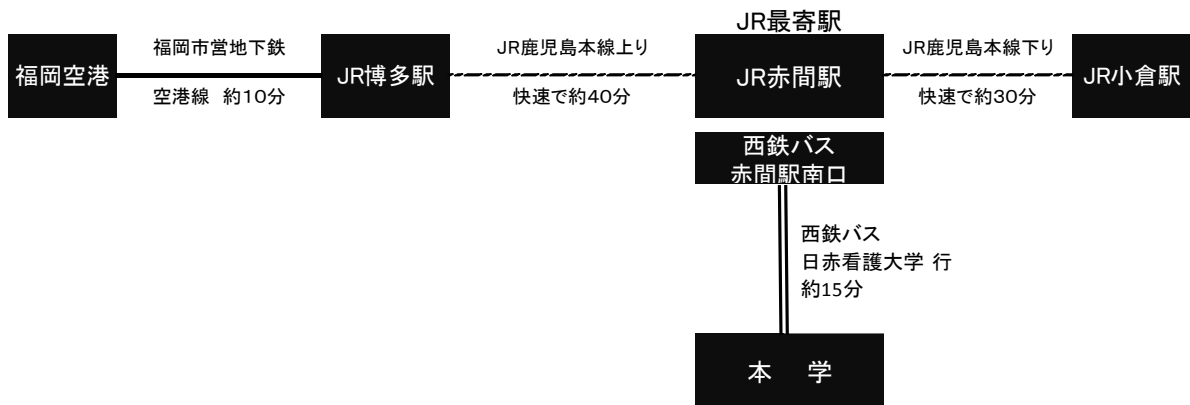
参加希望の方は、以下の申し込みフォームにご記入の上、7月25日（金）までに FAX でお申し込みください。

平成 26 年度公益社団法人日本助産師教育協議会将来構想委員会
九州・沖縄地区研修会 助産師教育コロキウム
「将来の助産師教育を考える - あるべき卒業時の到達像と教育 -」
参加申し込み書

所属（職名）	ふりがな 氏 名

なお本用紙は、7月25日（金）迄に FAX（0940-35-7021）でお送りください。

◆JR 鹿児島本線をご利用の方



◆西鉄バスをご利用の方

